

施工説明書

シャワートイレ KS・US シリーズ

CW-KS220 型 CW-KS210 型
CW-US221-NEBC 型 (ケアサポート水栓向け)

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

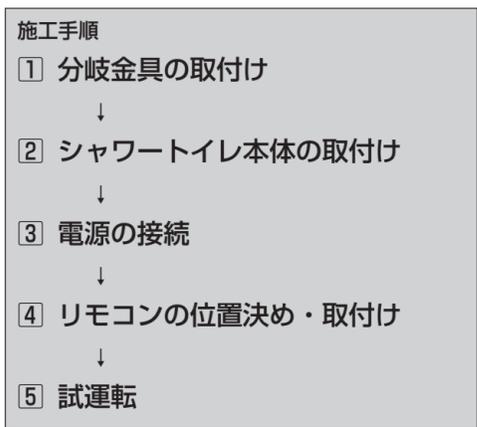
お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。

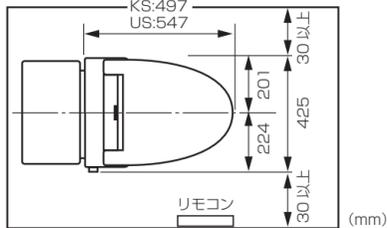
※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173
受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)



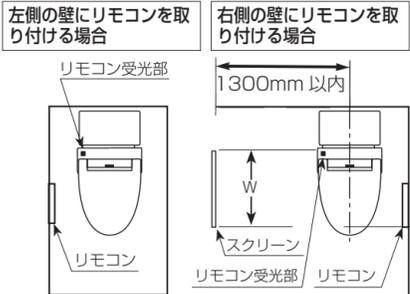
必要なスペースは？

必要なトイレスペースは下図のとおりです。
※1 製品に向かって右側・左側ともに 30mm 以上の空間を確保してください。



リモコンの取付位置は？〈KS 型の場合〉

リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁 (左側) に取り付けてください。



必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から 1300mm 以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。スクリーンの寸法は高さ 1100mm 以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。(ただし、壁の仕上げ・色 (特に黒っぽい色) などにより受信条件が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。)

準備工具

- モンキーレンチ (26mm 以上調節可のもの) またはスパナ類 (17、23 ~ 26mm)
- マイナスドライバー
- パイプカッター (サプライ管を切断する場合)

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店にご依頼ください。

- コンセントは AC100V、定格消費電力 KS : 210W、US : 165W に適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- 定格消費電力に適した配線を行ってください。
- 必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1.0m です。
- ※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

便器の確認

1. 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタログなどにてご確認ください。
2. 本体給水ホース (同梱) の使用可能な条件
同梱の本体給水ホースは 950mm ですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 800mm 以内が適切です。
※ 800mm 以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホース CWA-37C (1350mm) または CWA-38C (2000mm) を手配してください。
3. タンク給水ホース (別売品) の使用可能な条件
止水栓とロータンクの間の距離によって使用できない場合があります。
● 止水栓とロータンクの間の距離が 150mm ~ 300mm の場合：
タンク給水ホースが使用できます。
7 ページの「■ タンク給水ホース (別売品) を使用する場合」をご覧ください。
- 止水栓とロータンクの間の距離が 150mm ~ 300mm 以外の場合：
タンク給水ホースが使用できません。
※ 既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。

使用する水は？

- 給水は必ず水道水に接続してください。中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 給水圧力は 0.06MPa {0.6kgf/cm²} ~ 0.75MPa {7.5kgf/cm²} が必要です。0.06MPa {0.6kgf/cm²} 以下の場合、お求めの取扱店にご相談ください。
- 給水は便器の止水栓から取ってください。フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- 警告** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

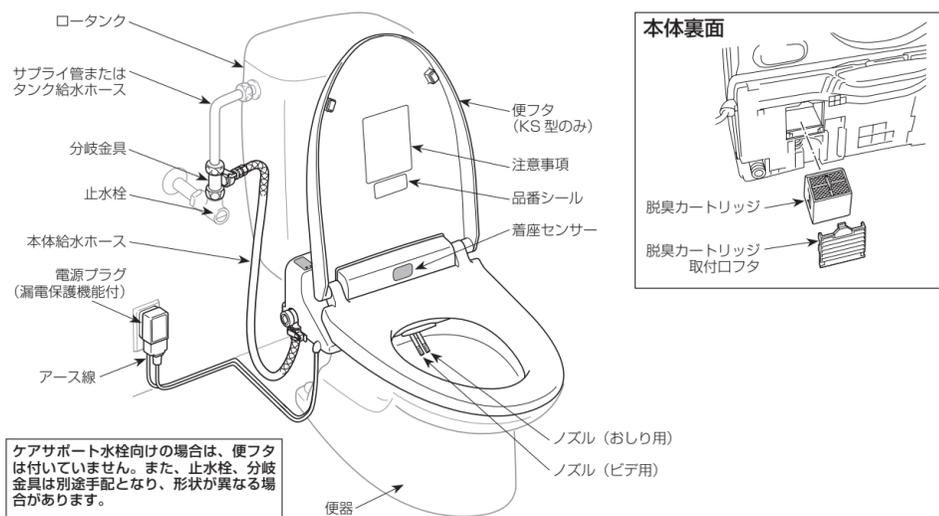
警告

- 指示実行 施工説明書に従い、正しく施工する。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 禁止 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。
- 分解禁止 分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれ手禁止 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電の恐れがあります。
- 指示実行 電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。
- 水かけ禁止 本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。
- 禁止 AC100V 以外では使用しない。
※ タコ足配線はしない。
※ 感電・火災の原因になります。
- 指示実行 電源プラグは根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災の恐れがあります。
- アース接続 アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- 水場使用禁止 バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
※ 感電・火災の原因になります。
- 禁止 水道水以外に接続しない。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

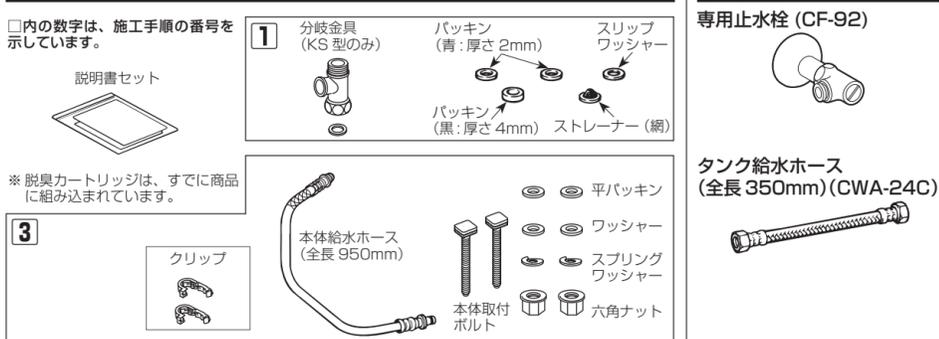
注意

- 指示実行 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行 ● ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
● ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
● ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- 指示実行 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行 お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
※ 凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
※ 凍結破損により火災の原因になります。
- 指示実行 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 指示実行 サプライ管の接続は確実に進行。
※ 袋ナットの締付けが不十分ですと漏水の原因となります。

各部のなまえ



同梱部品の確認



別売品



リモコンは下記のいずれかが同梱されます。



快適機能の設定はしないでください！

■ 快適機能の設定はお客さまにおまかせください。
シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。
特に節電機能は、お客さまが意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは
お客さまにシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。

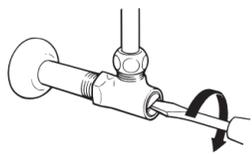
- 便座・温水の温度
- 脱臭機能
- 節電機能
- 便座ヒーターオート OFF

* : 試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

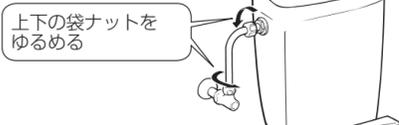
1 分岐金具の取付け 【注意 1-1 参照】

ケアサポート水栓向けの場合は形状が異なります。
専用止水栓（CF-92）を使用する場合は、分岐金具の取付けは不要です。

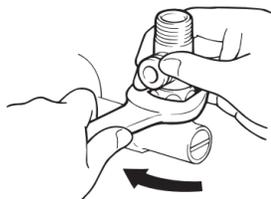
1. 止水栓を閉める。
便器の止水栓をマイナスドライバーなどで
いっぱい閉め、給水を止めます。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（ど
のくらい回したか）を覚えておいてくださ
い。



2. サプライ管を取り外す。【注意 1-2 参照】
※ ぞうきんなどを下に置いてください。



3. 分岐金具を止水栓に取り付ける。
※ パッキン（青：厚み 2mm）を入れてくだ
さい。
（締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm}）



【注意 1-1】

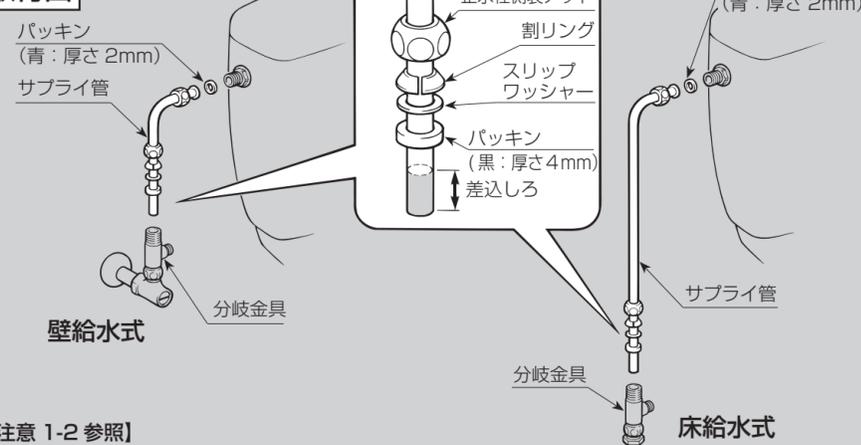
- 止水栓にすでに分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006（止水栓付）を使用する。
※ 漏水の原因になります。

【注意 1-2】

- 止水栓やサプライ管に無理な力をかけない。
※ 破損して漏水の原因になります。

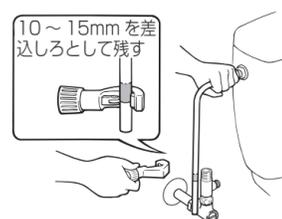
■ サプライ管を切断して取り付ける場合

取付図

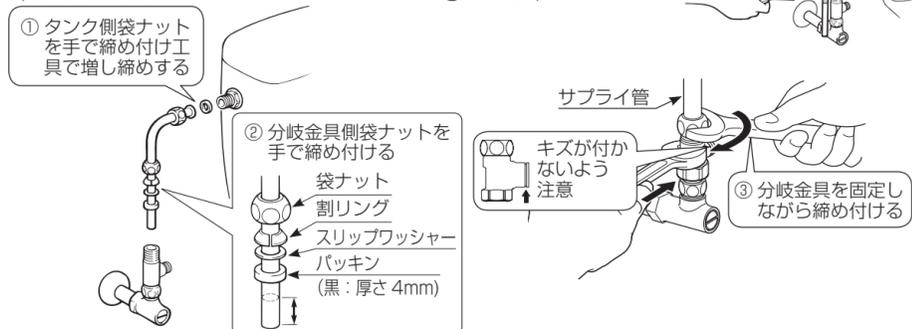


【注意 1-2 参照】

1. サプライ管（分岐金具側）を切断する。【注意 1-3 参照】
サプライ管の切断にはパイプカッターを使用する。



2. サプライ管を取り付ける。【注意 1-4 参照】
（締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm}）



【注意 1-3】

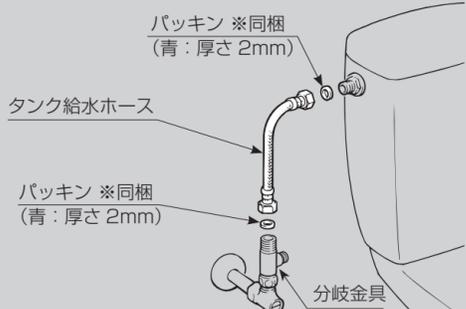
- サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。
- サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。
- 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。
固定できない場合はタンク給水ホース（品番：CWA-24C）を使用する。
※ 漏水の原因になります。

【注意 1-4】

- 各製品の向きと順序を間違えないようにする。
※ 漏水の原因になります。
- 既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（品番：CWA-24C）を使用する。
※ 漏水の原因になります。
- サプライ管の接続は確実にを行う。
※ 漏水の原因になります。

■ タンク給水ホース（別売品）を使用する場合

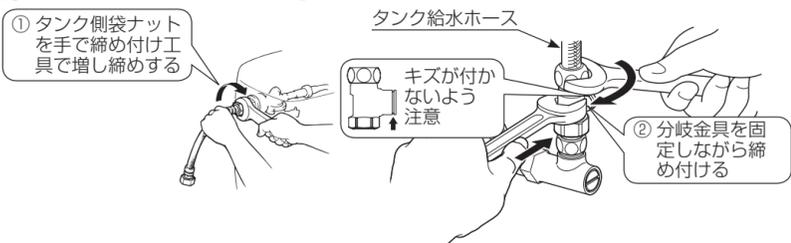
取付図



【注意 1-7 参照】

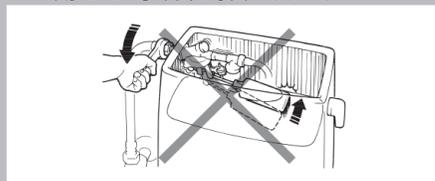
1. 給水ホースを取り付ける。【注意 1-5 参照】 【注意 1-6 参照】

※ 給水ホースがねじれないように注意してください。



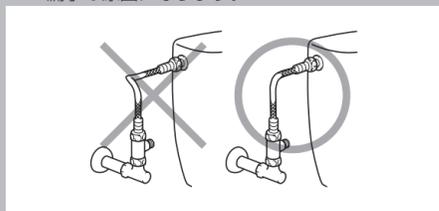
【注意 1-5】

- ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。
※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



【注意 1-6】

- タンク給水ホースは鋭角に曲げない。
※ 漏水の原因になります。



- パッキンは必ず付属品を使う。
※ 漏水の原因になります。

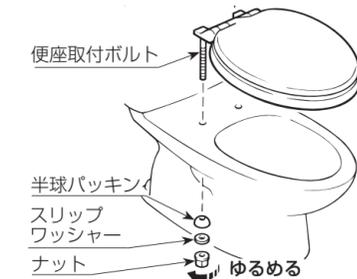
【注意 1-7】

- 当社製ストレーナー付便器の場合は、同梱のストレーナー付パッキンに交換する。このとき同梱のパッキン（青：厚さ 2mm）は取り付けない。
※ パッキンセット袋に同梱の説明書も合わせてご覧ください。

2 シャワートイレ本体の取付け 【注意 2-1 参照】

1. 既存の便座を取り外す。【参考 2-1 参照】

- ① 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
- ② 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。

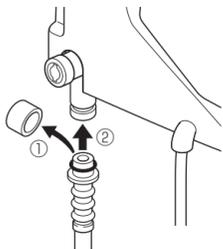


※ 既存便座の取付構造はメーカーや機種により異なる場合があります。

2. 本体給水ホースを本体側に取り付ける。

- ① 保護カバーを外す。
- ② 本体給水ホースを差し込む。

【注意 2-2 参照】



【注意 2-1】

- 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

【注意 2-2】

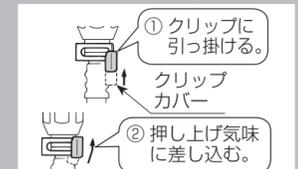
- 給水ソケットは回らないので注意する。
- 本体給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。
※ 破損して漏水する恐れがあります。

【注意 2-3】

- Oリングにキズを付けないように注意する。
※ Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。
- クリップは確実にはめ込む。
正しい付け方 悪い付け方



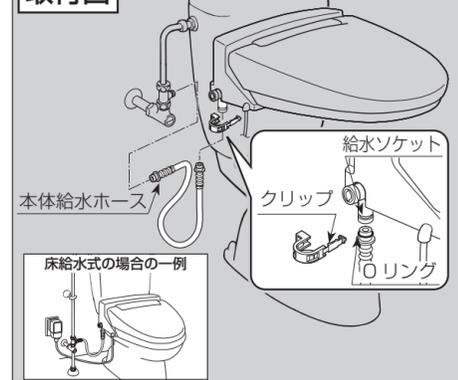
- クリップとクリップカバーが別体の場合、クリップカバーは下記のようにはめ込む。



【注意 2-4】

- クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。
※ 漏水の原因になります。

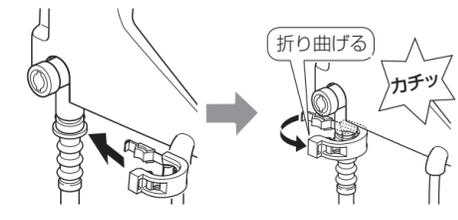
取付図



- ③ クリップで固定する。【注意 2-3 参照】

【注意 2-4 参照】 【参考 2-2 参照】

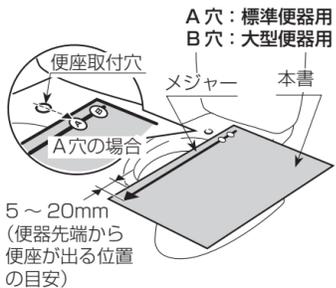
- クリップに方向性はありません。
- 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



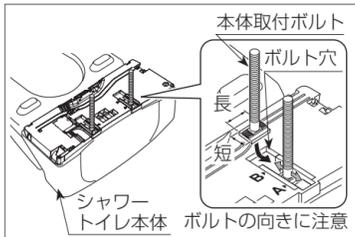
3. シャワートイレ本体を取り付ける。



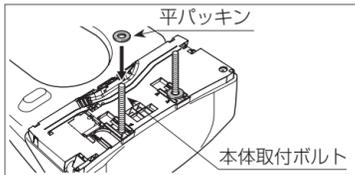
- ① 本説明書左側のメジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、ボルト取付位置を決定します。
 (1) メジャー A または B を便座取付穴に合わせます。
 (2) 矢印が便器先端から目安として 5 ~ 20mm 出る穴を選択します。



- ② 選択した穴 (A または B) と本体裏側の表記 (A または B) が一致するように本体取付ボルトを挿入します。



- ③ 平パッキンを本体取付ボルトにはめ込みます。



- ④ 便器の便座取付穴に本体取付ボルトを差し込んで、本体を設置します。
【注意 2-5 参照】

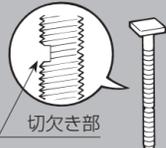
※便器の位置が合わない場合は、便器から本体を取り外し、取付けボルトの位置を調節してください。

- ⑤ 本体取付ボルトにワッシャーとスプリングワッシャーを通し、六角ナットで固定する。(締付トルク 2.0 ~ 2.5N・m (20 ~ 25kgf・cm)) 【注意 2-6 参照】



【注意 2-5】

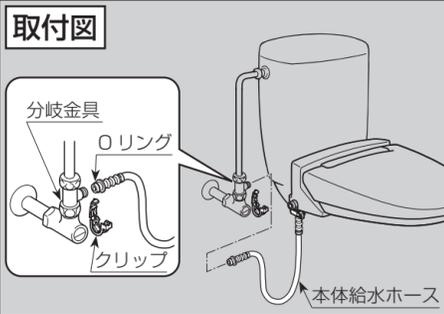
- 本体取付ボルトが長すぎる場合は切欠き部より切断する。
※切断後は、切断面のバリなどを取り除く。



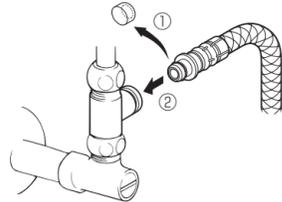
【注意 2-6】

- ナットの締付けは片利きのないよう左右くりかえし、少しずつ行う。
※ずれの原因になります。
- ナットの締付後、本体が確実に固定されているか確認する。本体がずれる場合は、締付不足のため、再度増締めする。
- 手で締めにくい場合は、工具 (対辺 17mm) で増締めする。

4. 本体給水ホースを分岐金具側に取り付ける。



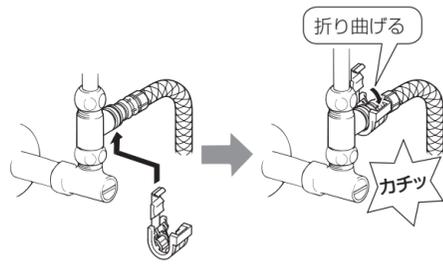
- ① 保護カバーを外す。
- ② 本体給水ホースを差し込む。
【注意 2-2 参照】



- ③ クリップで固定する。【注意 2-3 参照】

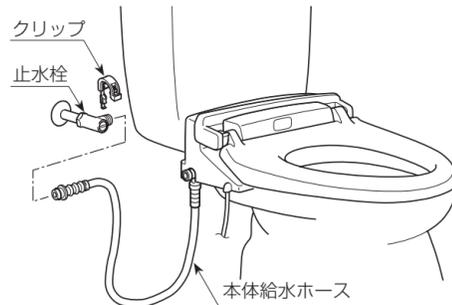
【注意 2-4 参照】 【参考 2-2 参照】

- クリップに方向性はありません。
- 取付後にクリップを回し、確実にハマっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



■ 専用止水栓 (CF-92) の場合

ケアサポート水栓向けの場合、別途専用の止水栓 (CF-92) を取り付ける必要があります。配管は下図を参考にして接続します。クリップの取付方法は上記の給水ホースの取付けと同じです。

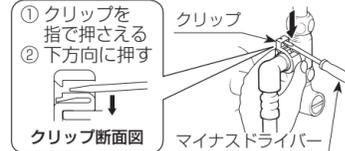


【参考 2-1】

- 取り付ける便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。
- 取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保管しておく。

【参考 2-2】

- クリップを外す際は、下方向に押すようにして外す。

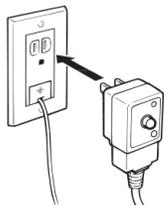


3 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

【注意 3-1 参照】

- ① アース線を接続する。
- ② 電源プラグを差し込む。



2. 電源が入っていることを確認する。

本体の電源ランプが点灯していることを確認してください。



⚠ 警告

- 確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
- ※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 3-1】

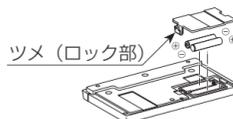
- 電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認する。
- リセットボタンを押しても電源ランプ (KS 型: 赤、US 型: 緑) が点灯しない (電源プラグの表示ランプが点灯する) 場合は、200V が通電されていないかを確認する。

4-1 赤外線リモコン (KS 型) の位置決め・取付け

このページでは赤外線リモコン (KS 型) について説明しています。電波式リモコン (US 型) については 13 ページをご覧ください。

1. ホルダーを外し、付属の電池 (アルカリ単三形 2 本) を入れる。【注意 4-1 参照】

- 電池フタが開けにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具でツメ (ロック部) を押さえて外してください。

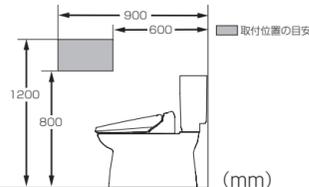


2. リモコンの取付位置を確認する。【注意 4-2 参照】

- ① リモコンを取り付ける位置に仮置きする。
- ② 便座に座って止スイッチを押す。
- ③ 便器前に立ち、もう一度止スイッチを押す。

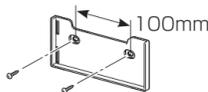


- 本体表示部の電源ランプが点滅する (受信正常) ことを確認します。



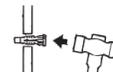
3. ホルダーを取り付ける。

< 厚みが 5mm 以上の合板壁の場合 > 付属の木ねじで固定する。



< 厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボードの場合 >

- ① 壁に下穴をあける。(合板壁: φ 6mm、石膏ボード: φ 5mm)
- ② プラスチックアンカーを軽く打ち込む。

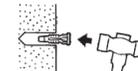


- ③ ホルダーを木ねじで固定する。
● 締め付けていくと、初めは堅く、いったん緩くなり再び堅くなります。



< コンクリート壁の場合 >

- ① 壁に下穴をあける。(φ 6mm、深さ約 33mm)
- ② プラスチックアンカーを軽く打ち込む。

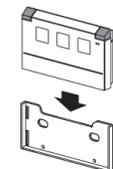


- ③ ホルダーを木ねじで固定する。



4. リモコンを取り付ける。

リモコンをホルダーへセットする。
※ リモコンに保護フィルム (透明) が貼られている場合は、はがしてください。

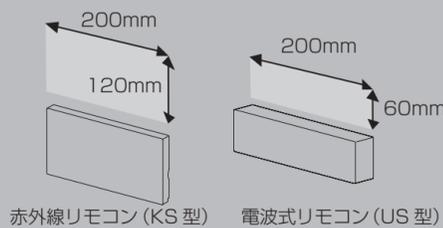


【注意 4-1】

- 電池のプラスとマイナスの向きを間違えないように入れる。
- 電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
- 同梱の電池を使用する。

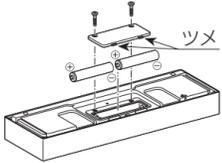
【注意 4-2】

- リモコン取付位置の上方に、リモコン脱着に必要なスペースがあることを確認する。



4-2 電波式リモコン (US型) の位置決め・取付け

1. 付属の電池 (リチウム単四形 2 本) を入れる。【注意 4-1 参照】
2. 電池フタのツメをリモコン本体に引っかけて、固定ねじ (2 本) で電池フタを固定する。【注意 4-3 参照】



3. リモコンの取付位置を確認する。【注意 4-2 参照】

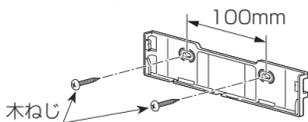
- ① リモコンを取り付ける位置に仮置きする。
- ② 便座に座って止スイッチを押す。
- ③ 便器前に立ち、もう一度止スイッチを押す。



- ・ 本体表示部の電源ランプが点滅する (受信正常) ことを確認します。

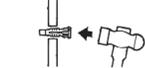
4. ホルダーを取り付ける。

< 厚みが 5mm 以上の合板壁の場合 >
付属の木ねじで固定する。



< 厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボードの場合 >

- ① 壁に下穴をあける。(合板壁：φ 6mm、石膏ボード：φ 5mm)
- ② プラスチックアンカーを軽く打ち込む。



- ③ ホルダーを木ねじで固定する。
・ 締め付けていくと、初めは強く、いったん緩くなり再び強くなります。



< コンクリート壁の場合 >

- ① 壁に下穴をあける。(φ 6mm、深さ約 33mm)
- ② プラスチックアンカーを軽く打ち込む。

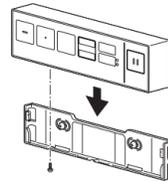


- ③ ホルダーを木ねじで固定する。



5. リモコンを取り付ける。

- ① リモコンをホルダーへセットする。
- ② 必要であれば、固定ねじでリモコンとホルダーを固定します。ホルダー下側からリモコンを固定してください。



【注意 4-3】

- 電池フタの固定がしっかり行われないとリモコン内部に浸水し破損する恐れがあります。

-13-

● 便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

1. 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
2. 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め (品番：75-2608) を手配して貼り付ける。
※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に貼ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

【注意 6-1 参照】

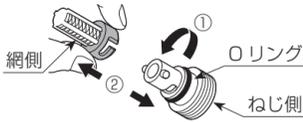
1. 「止水栓」を閉めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置 (どのくらい回したか) を覚えておいてください。
2. 本体向かって左下の「ストレーナー」を工具で回して外す。
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



3. 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いして完全に取除く。

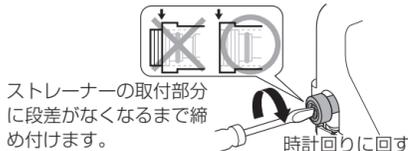


- ストレーナーの汚れがひどい場合はストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
- ※ Oリングにキズを付けないように注意してください。Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
- ※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
- ※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



【取付時の注意】
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

4. 「ストレーナー」を工具で確実に取り付ける。



5. 「止水栓」を元の位置まで開く。
6. 止水栓部から水漏れしていないか確認する。

【注意 6-1】

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因となります。

-15-

5 試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

施工に起因する不具合を防止するために、施工・試運転終了後、再度以下内容のチェックを必ず実施し、確認欄にチェック (✓) を記入してください。
施工が不十分ですと漏水、作動不良などの原因となります。
US型で作動しない場合はベアリングの確認 (P.16 ページ) を行ってください。

● 水漏れ箇所はありませんか？

1. 止水栓を全開にする。

	チェック欄	確認内容	
漏水確認	<input type="checkbox"/>	漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。)	
	<input type="checkbox"/>	① 止水栓部および給水ホースとの接続部	
	<input type="checkbox"/>	② 本体と給水ホースとの接続部	

● おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

1. 電源が入っていることを確認する。
2. 着座センサーを白っぽい紙や布で覆う。



確認機能	チェック欄	確認内容	
おしりノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、1～2分ほどかかります。 【おしり】を押した後、洗浄強さの設定を「強」にしてしばらくお待ちください。 ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと水が止まりますか？	
ビデノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、1～2分ほどかかります。 【ビデ】を押した後、洗浄強さの設定を「強」にしてしばらくお待ちください。 ① 【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと、水が止まりますか？	

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約 15 分たった後、温水が出るか、便座が温まるかを確認する。

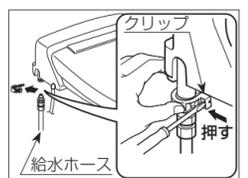
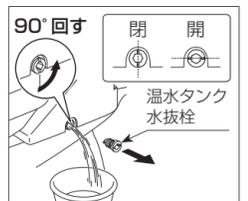
確認機能	チェック欄	確認内容	
おしりノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？	
暖房便座	<input type="checkbox"/>	1. 便座に手で触れ、暖かくなっていますか？	

4. 着座センサーを覆っている紙や布を外す。

-14-

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

1. 止水栓を時計回りに回して閉め、ロータンクへの給水を止める。
(寒冷地用水抜きは、室内の水抜き栓を操作します。)
2. ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く。
3. 電源プラグをコンセントから抜く。
4. 温水タンクと本体給水ホースから水を抜く。
① 「2」シャワートイレ本体の取付け 手順 3」の逆の手順で、シャワートイレ本体を便器から外す。
② あらかじめ水受け (約 1L 以上入るもの) を用意する。
③ マイナスドライバーを使って、本体向かって右側面にある水抜き栓を反時計回りに 90° 回して外す。
※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので注意してください。
④ 本体を右側に傾け、水抜き栓を引き出して温水タンクから水を完全に抜く。
⑤ 水抜き完了後、水抜き栓を押し込み、時計回りに 90° 回して締め付ける。
⑥ 「2」シャワートイレ本体の取付け 手順 2」の逆の手順で、本体向かって左側の本体給水ホースを外す。このとき洗面器などを下に置く。
⑦ 本体を左側に傾けて、給水ソケットの穴から本体に残った水を抜く。
⑧ 本体給水ホース内に残った水を抜く。
⑨ 「2」シャワートイレ本体の取付け 手順 3」の手順にしたがって本体を取り付ける。



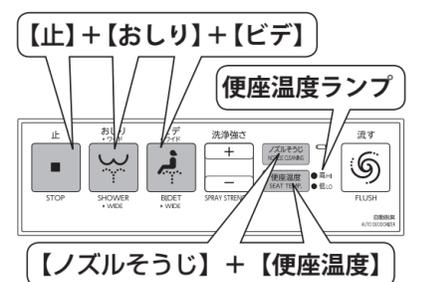
リモコンが作動しないときは次のことを確認してください。

- リモコンの電池が正しく取り付けられていますか。
電池を正しく取り付けてください。リモコンの施工説明書を参照してください。
- シャワートイレ本体とリモコンは、同梱以外のペアで取り付けられないでください。
※ シャワートイレ本体とリモコンはあらかじめ登録されていますので、同梱以外のペアで取り付けると作動しません。
※ 同梱以外のペアで取り付けってしまった場合は、以下の手順で登録し直してください。

< リモコンの登録 >

すでにリモコンがご使用できる場合は、登録は必要ありません。リモコンで操作できない場合や再度リモコンの登録が必要な場合は、以下の手順にしたがってリモコンの登録を行ってください。
本体の電源が ON になっていること、リモコンに電池が入っていることを確認してください。

- ① リモコンを本体に近づける。
- ② リモコンの【止】と【おしり】と【ビデ】を同じタイミングで 6 秒以上押す。
※ リモコンの便座温度「高」と「低」のランプが交互に点滅します。
- ③ リモコンの【ノズルそうじ】と【便座温度】を同じタイミングで 2 秒以上押す。
- ④ 便座温度の「高」と「低」のランプが同時に点灯したら登録完了。
ランプが点滅したら正しく登録できていません。再度 ② からやり直してください。



PCW-1277K(18060)

-16-